

## 旧兼山支店の土地と建物

### 東濃信金、可児市に寄贈

敷地内に市重文「三階倉」

東濃信用金庫は、2月に廃店した可児市兼山の旧兼山支店の土地と建物を市に寄贈し、活用してもらおうと寄贈を決めた。

対象は土地608平方メートル、鉄骨2階建ての文化財「三階倉」があり、近くは国史跡の美濃延べ342平方メートルの建

物。支店の裏には、明治中期の建築で呉服店の商品倉庫として使われた三階倉がある。

同市役所で目録の贈呈式があり、市原好二

理事長は「住民が集う場や観光資源として役立ててほしい」とあいさつ。富田成輝市長は

「兼山地区の魅力づくりの核として利用を検討したい」と述べた。

三階倉が旧支店の建物で道路から見えないため、市はいずれ建物を解体する意向。

(松浦健司)



富田成輝市長に目録を手渡す市原好二理事長  
(左) 可児市役所



寄贈された東濃信用金庫の旧兼山支店 可児市兼山